



■ネパールの学校保健研修の修了式に参加する神馬氏

学公衆衛生大学院の客員  
研究員として海外生活も送  
った。一方、自分の抱いていた  
「夢」から離れつつあると  
感じていた。

サンフランシスコで急性  
A型肝炎を発症し、日本に  
帰国した時に大きな転機が  
訪れた。「1ヶ月間の離職中  
に、医学生時代の『夢』が  
蘇ってきた」という神馬氏  
は、その頃声をかけてもらっ  
ていた「途上国で働いてみ  
ないか?」という誘いの中  
から、WHO(世界保健  
機関)の緊急人道援助部  
のコーディネーターとして、  
中東ガザ地区で働くとい  
う道を選択した。

ガザ地区での活動を199  
4年から始めた神馬氏は、  
同地区で初めてのWHO  
事務局を設立。翌年には  
在エルサレムの事務局長も  
兼任し、同地域の保健医  
療の基盤を築いた。また、  
1996年から5年間、J  
ICA(国際協力機構)の  
専門家として、ネパールに渡  
り「ネパール学校・地域保  
健プロジェクト」のチームリ  
ーダーを務め、テロ活動によ  
り治安が不安定になる中、  
学童主体の保健活動や母  
親の識字能力の向上、地  
域の保健指導者のレベル向  
上などにも尽力した。

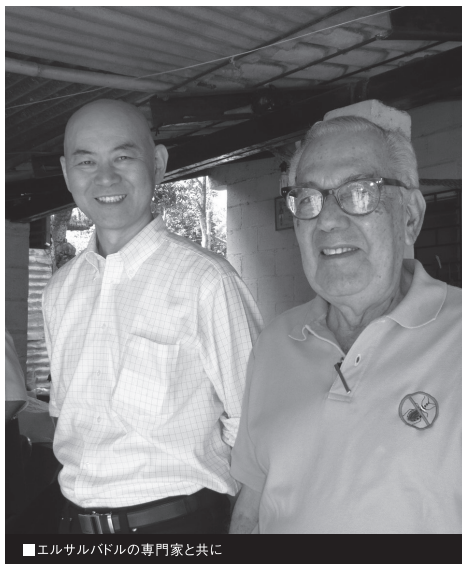
1979年に浜松医科  
大学に入学した神馬征峰氏  
が、途上国が抱える健康課  
題に対し、公衆衛生対策に  
て改善を図るという国際保  
健活動に携わるきっかけと  
なったのは、2年生の時に  
参加した「日米学生会議」  
だった。「ただ医学だけを学  
ぶことに疑問を感じていた」  
という神馬氏は、アメリカで  
開催された、「平和」をテーマ  
としたこの会議に出席した  
ことを機に、「平和に関わる  
仕事をしたい」と考えるよう  
になった。そんな時、ネパール

で医療ボランティア活動をし  
ていた伊藤邦幸氏と出会い、  
影響を受けたことでその  
思いはさらに強まり、大学  
4年の時に、インターンとし  
て学童に公衆衛生を指導  
するため、2ヶ月間インド  
に滞在。その経験から途上  
国で働くことを「夢」とし  
て意識するようになった。

同大学卒業後、医師とな  
った神馬氏は、2年間  
臨床医として働いた後、  
1987年から国立公衆  
衛生院の研究員として勤務。  
1991年にはハーバード大

途上国で活動した7年間  
で「国際保健の専門家にな  
るためには、そこで得た学び  
を分析し、論文として世界  
に発信できるようにするこ  
とが必要である」と実感した  
神馬氏はその礎を築くため、  
ハーバード大学が日本医師  
会協力のもとに設置した  
「武見国際保健プログラム  
(武見フェロー)」に参加。  
ハーバード大学で1年間  
研究生生活を送った。  
現在、神馬氏は東京大学

大学院で国際地域保健学  
の教授を務める中で「国際  
保健にとつて重要なのは、  
研究・政策・実践の連携で  
ある」と説く。現場にいる  
人は論文を書かない。大学  
において論文を書ける人は現  
場を知らない。自身が現場  
と研究の架け橋となるべく  
後継者の育成に努める神馬  
氏とその後継者が、日本の  
国際保健学に新たな道を  
切り開いていくことに大き  
な期待がかかる。



■エルサルバドルの専門家と共に

# 研究・政策・実践に架け橋を

貧しい人々の声を世界に発信する人材教育に取り組む

## 教育者部門(国際)



じんば まさみね  
**神馬 征峰**  
Msamine Jimba

東京大学大学院医学系研究科  
国際地域保健学教室 教授  
Professor, Department of Community  
and Global Health, Graduate School  
of Medicine, The University of Tokyo

推薦者 **横倉 義武** 公益社団法人日本医師会 会長

1957年青森県生まれ。1985年浜松医科大学卒業。在学中、日米学生会議に参加。恩師伊藤邦幸氏との出会いをきっかけに国際保健を志す。同大学卒業後、飛騨高山赤十字病院研修医、国立公衆衛生院労働衛生学部研究員、ハーバード大学公衆衛生大学院環境保健学部客員研究員を経て、1994年からガザ地区(在ガザ)・ヨルダン川西岸地区(在エルサレム)WHO事務所長、1996年からは「ネパール学校・地域保健プロジェクト」のチームリーダーを務めた。その後、武見フェローでハーバード大学公衆衛生大学院人口・国際保健学部での研究者生活を送った後、2002年に東京大学大学院医学系研究科国際地域保健学教室講師となり、2006年から教授を務めている。